

2012年8月6日

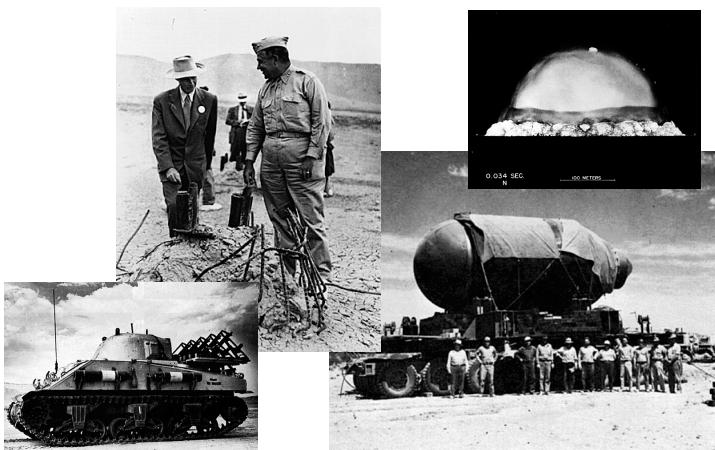
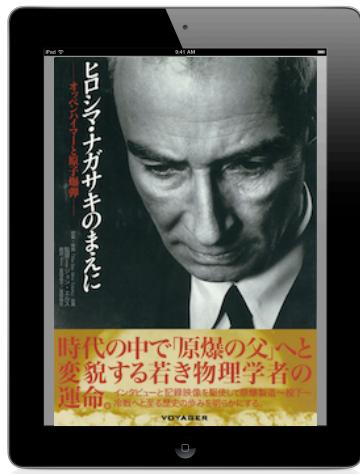
株式会社ボイジャー

原爆製造—投下—冷戦へと至る歴史を紐解く  
『ヒロシマ・ナガサキのまえに—オッペンハイマーと原子爆弾—』  
「BinB store」にて復刻・再生 8月6日発売

株式会社ボイジャー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：萩野正昭、以下：ボイジャー）は8月6日、自社の運営する「BinB store（ビーインビー・ストア）」にて、『ヒロシマ・ナガサキのまえに—オッペンハイマーと原子爆弾—』（ボイジャー刊）の販売を開始いたします。

本書は、1995年8月6日（米国では5日）、原爆投下50年のその日に、CD-ROM版として発売されました。その後1年を掛けて日本語版が制作され、販売されたものです。第53回アカデミー賞(R)長編ドキュメンタリー映画賞にもノミネートされた映画、「The Day After Trinity」（1980年）を原案としたもので、トリニティ・サイト（ニューメキシコ州アラモゴード）で行われた人類初の原爆実験を中心に、時代の中で「原爆の父」へと変貌する物理学者、オッペンハイマーの姿を浮き彫りにしています。ジョン・エルス監督は生々しいインタビューと記録映像を駆使して、国家対立、政治力学、軍人、政治家、そして物理学の巨星達が複雑に織りなす、原爆製造—投下—冷戦へと至る歴史の歩みを明らかにしました。

あれから16年、激しいコンピュータ環境の変化は、かつてのCD-ROM版『ヒロシマ・ナガサキのまえに』を廃盤同然の状態に追いやってしまいました。この現実を、電子書籍の根本問題として受け止めるボイジャーは、消え去った「本」の復刻・再生に取り組んできました。原子力に対して関心が高まっている今、ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下される前になにがあったかを原爆投下から67年目の今日、後世に伝えるべき事実を語る一冊として、『ヒロシマ・ナガサキのまえに』をここに復活させお届け致します。権利処理上の問題からドキュメンタリー映画部分は全編削除しました。ジョン・エルス監督の協力の下に、膨大なインタビューを映像とは別の記録として、電子書籍化しました。マンハッタン計画に關係したノーベル賞受賞者ら16人のインタビュー全文、取材時の背景・状況解説、膨大な関連資料群を収録しております。



▶[書影のダウンロードはコチラ](#)

## □マンハッタン計画に関するノーベル賞受賞学者ら、計16名へのインタビュー全文収録

(収録内容)

### ►インタビュー：

1. エリザベス・イングラム（はじめての原子爆弾実験の目撃者）
2. ロバート&ジェーン・ウィルソン（オッペンハイマーの教え子。物理学者とその妻）
3. スタン＆フランソワーズ・ウラム（爆縮型原爆工程を数学的に解明した数学学者とその妻）
4. フランク・オッペンハイマー（ロバート・オッペンハイマーの弟。物理学者として計画に参加）
5. ロバート・クローン（物理学者。研究者としての一生をロスアラモスで送る）
6. スターリング・コルゲート（偽名でロスアラモス用地視察に訪れたオッペンハイマーを見破る）
7. ロバート・サーバー（理論的物理学者で計画に参加。終戦直後、広島、長崎の調査にあたる）
8. ハーコン・シュヴァリエ（オッペンハイマーの虚偽の証言によってスパイ嫌疑をかけられた友人）
9. フリーマン・ダイソン（イギリスの天文物理学者）
10. ホルム・バーソム（経営する牧場の一部を原子爆弾の実験用地に接収された牧場主）
11. フランシス・ファーガソン（倫理文化学園、ハーヴァード大学時代のオッペンハイマーを知る友人）
12. ハンス・ベーテ（ユダヤ人ノーベル賞物理学者。アメリカのレーダー開発に貢献）
13. ロバート・ポートン（ロスアラモスの駐屯地娯楽部門に配属された軍属）
14. デヴィッド・マクドナルド（経営する牧場を原子爆弾の実験用地として接収された。実験の目撃者）
15. ドロシー・マッキビン（ロスアラモス研究所のサンタフェ・オフィスの秘書）
16. I・I・ラビ（オーストリアからアメリカに移住したノーベル物理学者）

### ►オッペンハイマーとマンハッタン計画に関するFBIおよび軍関係の機密文書を集成

### ►写真で見る原子爆弾誕生の地

### ►原子爆弾への道を拓いた人名録 など

## □訳者・富田倫生氏（青空文庫呼びかけ人）からのメッセージ

人はまず、超絶的な破壊を目指して、原子力の解放に挑んだ。

この作品は、多くの科学者を巻き込んだ原爆開発チームのリーダー、ロバート・オッペンハイマーの足跡をたどり、さまざまな人物の証言から、彼の人間像と原爆の開発過程を浮き彫りにする映画として作られた。制作の過程で行われたインタビューの大半は、そこには収録されていない。それらを文字に起こし、電子書籍化した"The Day After Trinity"の日本語版が、この作品である。本の電子化は、さまざまな夢を見せてくれた。動画や音声との連携。打てば応える新しい世界。ネットワーク経由でどこからでも読み始められ、在庫切れのくびきも逃れられる...。この作品も、それらの可能性のすべてを追った、ボイジャーのエキスピンドブック環境で、映画と組み合わせて制作された。だが、先進性を追求したフォーマットを、技術革新の激しいコンピューターの世界で維持し続けることは困難だ。この作品も、私のMacintoshでは、長く開けなくなっていた。マルチメディアが、永遠の悪手であるとは思わない。ただし、ボイジャーが先陣を切った電子出版20年の歴史の中で、ネットワークに連なる幅広い環境で、永続的に開き続けられるテキストを提供することの重みを、我々は繰り返し味わってきた。今、標準ファイルフォーマットHTML5を利用した同社のBinBで、この作品がよみがえることを喜びたい。原爆を作った側がいれば、太平洋をはさんだこちらには、落とされた者がいる。この作品の日本語化を手伝った直後、私は青空文庫というテキスト・アーカイブに関わった。そこでは、広島で被爆した原民喜と峰三吉、長崎で惨禍にみまわれた放射線医学者、永井隆の作品を開くことができる。はじめての原爆実験が行われた場所は、トリニティ(三位一体)と名付けられた。本作のテキストによる復刊によって、ネットワークには、ヒロシマ、ナガサキに加えて、トリニティをめぐる証言がそろうことになった。

(青空文庫呼びかけ人 富田倫生)

## □いつでもどこでも読める本として復刻

BinB store でご購入いただいた電子書籍は、HTML5対応のブラウザをビューアとして読むことができます。専用の端末やアプリを必要とせず、パソコンでも、タブレットでも、スマートフォンでも、すぐに読みはじめることができます。またブラウザベースならではの機能として、本書の中にはインターネット上のリソースを参照できるリンクが埋め込まれてより深い読書をお楽しみいただけます。まずは商品詳細ページからワンクリックで読める無料立ち読みをお試しください。

※読書環境の詳細については下記「読書環境」の項目をご覧下さい。

[http://binb-store.com/index.php?main\\_page=product\\_info&products\\_id=13632](http://binb-store.com/index.php?main_page=product_info&products_id=13632)

## ■販売情報

書名	ヒロシマ・ナガサキのまえに—オッペンハイマーと原子爆弾—
原案	原案・ドキュメンタリー映画「The Day After Trinity」監督：ジョン・エルス
訳者	富田晶子 富田倫生（青空文庫呼びかけ人）
出版社	ボイジャー
価格	840円（税込）
発売日	8月6日（月）14:00
販売ストア	BinB store <a href="http://binb-store.com/">http://binb-store.com/</a>
商品詳細ページ	<a href="http://binb-store.com/index.php?main_page=product_info&amp;products_id=13632">http://binb-store.com/index.php?main_page=product_info&amp;products_id=13632</a>
特設ページ	<a href="http://binb-store.com/ss/trinity">http://binb-store.com/ss/trinity</a>

### 読書環境

▷パソコン、スマートフォン、タブレット

PC : Microsoft Windows 7／Vista／XP SP2～（日本語版）

Mac : Mac OS X 10.6～

iPhone 4／iPhone 4S／iPad／iPad2 : iOS 4.3～

Android : Android 2.2～（スマートフォン）、Android 3.0～（タブレット）

▷ブラウザ

Google Chrome、Firefox 7以降、Safari 5.1以降、Internet Explorer 9以降

※インターネット接続環境下でご利用ください

---

## 〈株式会社ボイジャーについて〉

株式会社ボイジャー 代表取締役 萩野正昭

ホームページ：<http://www.voyager.co.jp>

Windows、Macintoshで標準的な電子本ビューア「T-Time」開発元。2000年に商用に電子本を販売することを目的として開発したドットブック (.book) は、T-Timeをビューアとして読むことが出来る。2006年セルシスと共同で携帯電話向けBookSurfingソリューション（現・BSソリューション）の提供を開始。2007年コミック・雑誌等の配信ソリューションとしてWebブラウザ用プラグインT-Time Crochetを開発。2008年iPhone対応、2010年6月iPad対応をし、.book & T-Timeのソリューションを幅広く展開している。本ソリューションは、講談社、角川書店、新潮社、文藝春秋、筑摩書房、幻冬舎コミックス、アスキー・メディアワークスなどが採用している。

## 〈関連URL紹介〉

★BinB store：<http://binb-store.com/>

★Voyager Store：<http://voyager-store.com>

## ※ 商標について

\*T-Time、.BOOK／ドットブック、Crochet／クロッシェ、BinBは、株式会社ボイジャーの登録商標です。

\*BSは、株式会社セルシス、株式会社ボイジャーの商標です。

\*会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## 〈報道関係お問い合わせ先〉

株式会社ボイジャー 企画室 鎌田純子、高山みのり

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-41-14

電話：03-5467-7070 / FAX：03-5467-7080

Email：[infomgr@voyager.co.jp](mailto:infomgr@voyager.co.jp)